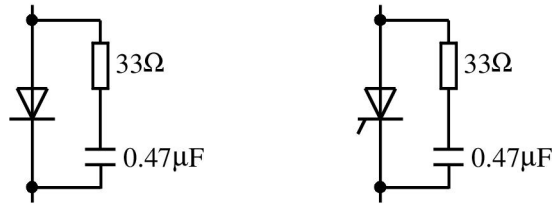


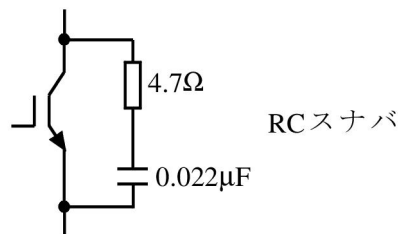
スナバ回路の設計

学生にシミュレーションや実験回路を組ませる際、マニュアル（アプリケーションマニュアル等）を読ませて自分でスナバ回路の設計をせよと指示すると、なかなかそこから抜け出せず実験が進まない。「エイヤー」で進めさせるためのとりあえずの簡易なマニュアルを作成しておく。



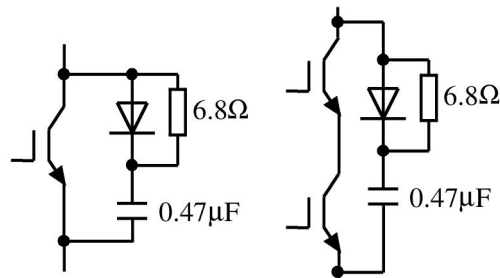
ダイオード整流器の場合 サイリスタ整流器・逆変換器の場合

ダイオード整流器、サイリスタ整流器又は逆変換器の場合



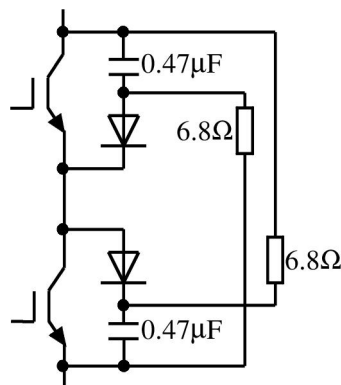
小容量(最大定格10-50A)の場合

小容量 IGBT、MOS FET の RC スナバの場合



中容量(最大定格75-100A)の場合

中容量 IGBT、MOS FET の非充電型 RCD スナバの場合



大容量(最大定格150A以上の)の場合

大容量 IGBT、MOS FET の充電型 RCD スナバの場合

実際の回路の場合、充電型 RCD スナバには、RC スナバを併用する機会が多いが、とりあえずこのような回路からスタートさせることとする。なお、実験室レベルでは中容量、大容量の変換器を作成することはまずあり得ない。通常は小容量の RC スナバで作成することとなるはずである。ここであげた中容量、大容量のスナバ回路はシミュレーションで用いることとなる。